

一獣去ってまた一獣



ワイヤーメッシュ（金網）柵が張られた寅次さんの畑の前で。
惣吉：寅やんげの畑も、柵張ったんだなや。
寅次：ほーだ。シシめにやられて、どーにもなんなくってよ。
惣吉：こんだけ張っとけば、だいじだんべ*。
寅次：シシめはいいんだきつと、今度はハクビシンが来てんだわ。
惣吉：あれはトーギミ**でもトマトでも何でも食っちまうからな。
寅次：こないだはサルめも来てよ。両手にカボチャかかえて持って
かれたわ。
惣吉：いやいやいやいや・・・。

*だいじだんべ：大丈夫でしょうね **トーギミ：トウモロコシ

出てくるケモノは1種類だけではない

栃木県の東部や西部の山間部にはイノシシが生息しており、さらに西部には、シカやサルも生息しています。また、平野部も含めた広い地域に、ハクビシンが生息しています。

耕作地に出没するケモノは1種類だけとは限らず、**複数種のケモノが出入りしていることがあります。**この場合、柵の構造によっては、ある動物は防げても別の動物の侵入を許してしまいます。

複数種のケモノを同時に防ぐことができる柵はあるのでしょうか？



発行：鳥獣新聞編集部（栃木県自然環境課内）

TEL028-623-3261 FAX028-623-3212

ご意見、ご要望などお待ちしております。

無断転写、複製、転送、公開、掲示、配布など大歓迎！



多獣種防護柵について

県では、イノシシを防ぐワイヤーメッシュ（金網）柵を基本として、サルやシカ、ハクビシンを防ぐことができる**多獣種防護柵を試作**しました。支柱上部に絶縁のためのホースを設置するとともに、事務用クリップを碍子として電線を 3 段設置しました。また、ハクビシンの防除のために、防風ネットをとりつけるとともに、ワイヤーメッシュの上部を折り曲げてホースと事務用クリップをとりつけ、電線を 1 段設置しました。資材はいずれもホームセンターで購入可能で、費用は 1 m あたり約 650 円（電牧機を含まず）ですが、既に設置されているワイヤーメッシュに追加する場合は、その半額程度で設置可能です。構造等の詳細は、栃木県林業センター（電話 028-669-2211）にお問い合わせいただくか、同センターのホームページに掲載されている平成 23 年度野生鳥獣研究紀要No.38*をご覧ください。（※県民の森管理事務所



発行（県民の森で行っていた野生鳥獣に関する試験研究は、平成 25 年度より林業センターに移管されています）

発行（県民の森で行っていた野生鳥獣に関する試験研究は、平成 25 年度より林業センターに移管されています）

